

家庭ごみの減量にご協力を

ごみ処理に1人当たり年間約1万4000円

令和3年度のごみ排出量は、2万8256tで、そのうち家庭系ごみの排出量は2万224t、1人1日当たり、約544gでした。

令和3年度のごみ処理費（収集、資源化、最終処分などの費用）は、約14億1604万円で、市民1人当たり約1万4000円を負担したことになります。ごみ処理費用には、ごみ袋や粗大ごみシールの売上金（約3億1146万円）と約11億458万円の税金が使われています。

皆さんのごみ減量の努力により確実に処理費用を削減できます。ごみの減量の取り組みに協力をお願いします。

「雑がみ」
捨てないで!



ごみの現状 生ごみと雑がみがキーポイント

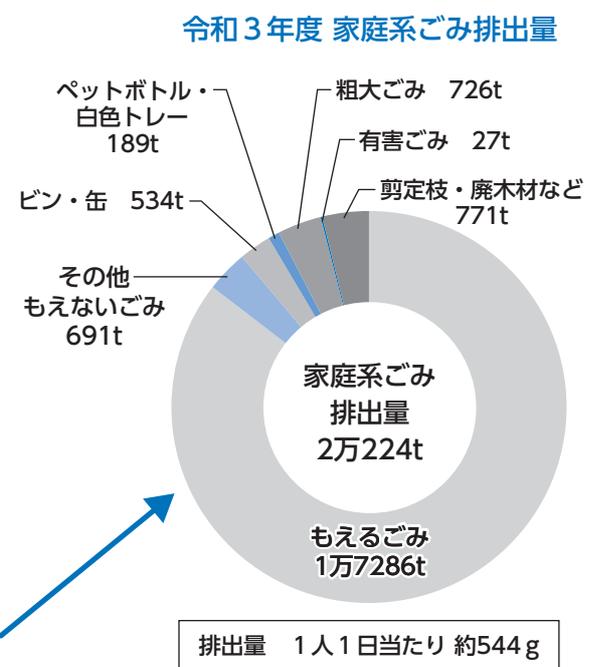
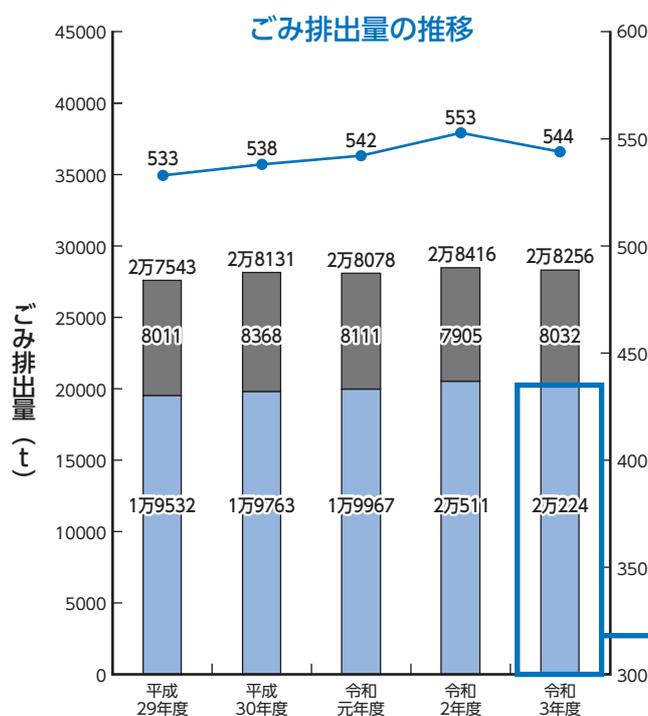
もえるごみの中には、賞味・消費期限切れの食品や調理くずが多く混じっています。分別すればリサイクルできる「雑がみ」が多く出されています。

これらを減らすことがごみ減量につながります。

ごみ減量のポイント

- 食品を買いすぎない。
- 賞味期限と消費期限の意味を知る。
賞味期限 おいしく食べることができる期限。この期限を過ぎてても、すぐに食べられないことはない。
消費期限 期限を過ぎたら食べないほうがよい期限
- 野菜などの傷みややすい食品は早めに使い切る。
- 食べることができる量に合わせて調理し、作りすぎない。

- 野菜の茎や皮を捨てずに使って調理する。
- 新聞紙・ダンボール・雑誌・「雑がみ」（包装紙・トイレットペーパーの芯・菓子箱など）・飲料用パック・古布は、古紙等回収倉庫や集団回収に出す。
- 資源ごみ（ビン・缶、ペットボトル・白色トレイ）はきれいに洗って出す。
 ※汚れているものは、リサイクルできません。



●問い合わせ先

循環型社会推進課ゼロカーボン推進担当

☎(580)1886